



JR労働運動を職場に伝え広げるために 全組合員でたたかいを力強く創り出そう!

JR東日本労働組合新潟地方本部 第7回定期大会

180名の結集で方針を確立!

新潟地方本部は7月30日、新潟市の新潟東映ホテルにおいて第7回定期大会を開催しました。180名の組合員が結集する中、職場から創り出してきた取り組みの成果と教訓を確認し合い、向こう1年間のたたかいの方針を確立しました。

当たり前に加えられる労働組合として 一人ひとりが具体的に実践しよう

星山執行委員長あいさつ

今大会に180名を超えるみなさんにお集まりいただいた。この1年間の成果や課題、教訓を多くの組合員で確認して、明日からの東日本ユニオンの更なる拡大のスタートダッシュになりえる大会をこれだけ多くの仲間で開催できることは重要な。6月に大きな地震があった。組合員、鉄道設備に被害などが無く、胸をなでおろしたが、設備、営業の仲間をはじめ列車の運行をしていた仲間もいたと思う。通常運行までの苦労があったと思う。災害の多い地域を多く持っているという実情からすれば、対策や命を落としかねない設備の問題点、ルールなどにメスを入れていくのも私たち労働組合の役割だ。

JR東日本の経営陣は「変革2027」を掲げ、この短期間で多くの施策を提案、実施している。経営側に対抗しうる手段である労働組合に未加入のまま、不安と疑問を持



藤本中央執行委員長



一年間のたたかいの教訓を全体で確認

2月の地方委員会では

「春闘で東日本ユニオンが本気を示そう」と提起した。議論を尽くし実践した結果、いざという時に結集できる組織へと前進したことが明確になった。昨年の大会以降、東日本ユニオンに多くの加入をいただいた。私たちの課題は明確に組織の強化から拡大へと段階が移った。更なる加入を目指す中で東日本ユニオンに加入するためのハードルを下げていこう。私たちが「我が組合に入るにはそれなりの覚悟が必要」と思い、新たに加入してくれる仲間にも求めているのではないかと。勇気が無いと加入できないのが労働組合ではない。加入する事に何の問題も無い。加入する事は何の問題も無い。私たちが「我が組合に入るにはそれなりの覚悟が必要」と思い、新たに加入してくれる仲間にも求めているのではないかと。勇気が無いと加入できないのが労働組合ではない。加入する事に何の問題も無い。加入する事は何の問題も無い。

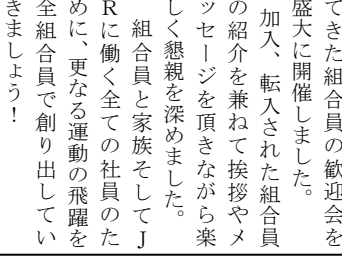
も無く、大手を振って良い権利であり会社とも協約協定を結んでいる。「正しいと思うから」「この仲間と活動していきたくいから」「ユニオンに入る事が自分にとって有益だから」加入する。それだけで良いはずだ。また、事務所維持のためにいただいている地本費が加入のハードルになるのであれば、地本費を下げ、もしくは別な形で支えるという発意と行動が今、必要だ。

見も取り入れることで、業務や職場の未来を語れる多くの仲間ができた。要求を実現しうる組織の拡大と要求を本物にしていく運動、この両方が必要だといふ事を確認したい。この1年の課題は更なる組織拡大の実現だ。拡大しうる運動と、加入するためのハードルを下げるためにそのハードルを下げる事だ。具体的な行動こそ、私たちの要求を実現できる組織への道だ。今大会を契機に職場からたたかいを創り出していこう。

来賓あいさつで中央本部の藤本執行委員長は「結成から7年がたち東日本ユニオンは確実に強化をされた。拡大を柱のひとつに、一歩も二歩も踏み込んだ取り組みを創り出していこう」「変革2027を公表以降矢張り早く提案・実施される施策に対して正面から向き合い交渉を

業務課題解決のためのたたかい、組織の拡大や労働運動の一元化に向けた具体的な取り組み、6月の地震発生時の対応から見えた課題など、いずれも教訓に富んだ内容でした。今回の大会では星山執

行委員長をはじめとする23名の執行体制を確立するとともに、運動方針など提起した全ての議案を満場一致で承認しました。大会終了後は今年1年間で加入して頂いた組合員と横浜地本から異動された組合員の歓迎会を盛大に開催しました。加入、転入された組合員の紹介を兼ねて挨拶やメッセージを頂きながら楽しく懇親を深めました。組合員と家族そしてJRに働く全ての社員のために、更なる運動の飛躍を全組合員で創り出していきたいと思います!



選出された新執行部